

ハマトビウオ都 TAC 更新のための ABC 算出研究

【研究概要】

ハマトビウオ漁業の次年度 TAC 策定に必要な ABC（生物学的許容漁獲量）を算出するとともに、資源解析精度の向上を図る。また、ハマトビウオの回遊経路など、資源管理の高度化に必要な生物学的特性を明らかにする。

- (1) 令和 5 年漁期のハマトビウオ水揚量は、八丈島で 2.0 万尾、三宅島で 0.17 万尾、新島で 0.06 万尾の計 2.2 万尾であった。屋久島における漁獲量は 10.5 万尾であった。
- (2) 八丈島で漁獲および調査指導船たくさんで採捕されたハマトビウオ 271 尾を精密測定し、成熟について知見を得た。八丈島の漁船が漁獲した 2119 尾の尾叉長測定、雌雄判別を行い、旬別の来遊状況を把握した。
- (3) 資源量指標値の算出に標準化による CPUE を用い、令和 6 年漁期における ABC Limit を 1.8 万尾、資源変動の可能性やデータ誤差に起因する評価の不確実性を考慮した ABC Target は 1.5 万尾と算定された。
- (4) 上記結果に基づき、資源評価票を作成した。